

# 新ニユース

シネスコ版

No. 558

高橋=2-2 No 393

新原=1-2 No. 221

## 一、聖火土佐路をいく

国内を四つのコースに分かれ、南と北から走り続けているオリンピック聖火。その第二コースは土佐路行脚です。南国土佐の潮騒をきき白砂青松の土佐湾沿いに室戸岬をまわり平和と友愛の灯オリンピックの灯は十月十日の東京へひた走りです。

## 一、歌って踊って

世界の若ものたちの話題になっている、ビートルズ一派、リヴァプール・ビートルズが東京にやって来た。野生的な演奏ふりと、強烈なサーフィンのリズムに若ものたちは酔いしれ、……踊る、歌う、熱狂する。いやはや大変な騒ぎとなりました。

## アイモ風土記

## 一、輪 島

—石 川

重くたれてむ雨雲、能登半島の北端輪島にはもう秋が深くしのびよっています。奈良朝以来数百年の伝統を誇る有名な塗り物は昔、この半島の片隅から舟で全国に運ばれ今日までその隆盛を見してきました。そうして今も海と輪島は深くつながりあっているのです。町の中ほどにあるお宮の境内では毎日夕市がたち、その日とれた海の幸が並び市は市民の生活になくてはならないものになっています。朝市は町の一番賑やかな所で開かれ近郷近在から魚や野菜が持ち寄られ、特に四と九の日には一段と賑わいを見せます。

市は働き者の女達によって賑わいます。だが、秋が深むとともに海の季節は終り、皆なは出稼ぎに輪島を離れてゆくのです。

62/F

353F

118F

150F

製作  
配給

中 部 日 本 新 聞  
北 陸 中 日 新 聞

東 京 中 日 新 聞  
中 日 映 画 社  
中 部 日 本 映 画 社